

CAROWAA

CAROWAA — ちゃろわ

アチョリの言語で「our village」「our home」「our land」といった意味を持つ言葉です。

JICAプロジェクトとともに自分たちの故郷がより発展する、という気持ちを込めて、グルオフィスの現地スタッフが名づけてくれました。

ちなみに配色イメージは北部らしく「ラテライト」です。



2011年ウガンダ北部復興支援が正式なプログラムとしてスタート グルフィールドオフィスも新体制でスタート

新しい年となる2011年、グルフィールドオフィスに朗報が届きました。JICA理事会が、ウガンダ北部復興支援を2014年度(2009年度のプロジェクト開始時から5カ年)までの包括的プログラムとして正式決定したというものです。

正式決定した今後も、2009年からの活動と同様に、コミュニティの再生(生活基盤インフラの確保・維持)、地方行政能力の強化(住民ニーズに基づく持続的な公共サービス提供)、南北間の格差是正(南部スーダンを含む地域の物流・経済活性化)の3つの課題に取り組んでいきます。対象地域はアムル県、ヌウォヤ県を中心としていましたが、2011年からはアチョリ地域全7県に拡大していく予定です。

平井プログラムマネージャーお疲れ様でした

2009年10月のグルフィールドオフィス立ち上げから1年4ヶ月に渡ってオフィスを支えていただいた平井プログラムマネージャーが2011年1月末にウガンダを離任されました。長い間お疲れさまでした。

新スタッフ到着

2011年グルフィールドオフィスに続々と新しいスタッフが加わり、新体制でのスタートです。今後ともよろしくお願い致します。

2011年1月 - 中村(芳) 企画調査員

2011年2月 - 中村(和) 短期企画調査員

2011年3月 - 星 プログラムマネージャー /
グルフィールドオフィス所長

(オフィスの場所は2010年移設して以後変更はありません。)



グルフィールドオフィス 外観



グルフィールドオフィス 内部

緊急パイロットプロジェクト「アムル県多目的ホール」引渡し式典を開催

2010年12月22日「アムル県国内避難民帰還促進のためのコミュニティ開発計画策定プロジェクト」における緊急パイロットプロジェクト「アムル県多目的ホール」の引渡し式典が、県行政長官、在ウガンダ日本大使館加藤大使、JICAウガンダ関所長の出席の下、開催されました。

この施設はウガンダ北部地域最大のホールとなり、各種会議の他、トレーニング、セミナー等のイベント会場として、また一部オフィスとしても使用される予定です。ソーラーパネルによる電力供給、水道供給など設備面でも整備されており、地域期待の施設です。同様にJICAの支援によって既に完成している県政府職員住居施設とともに有効活用が期待されます。

引渡し後、会議・セミナーの会場として有効活用され、また電力不足による停電が頻発する状況から、電力が確保されている数少ない建物として県政府の事務所としても利用されています。



テープカットの様子



JICAウガンダ事務所 関所長によるスピーチ



アムル県多目的ホール 外観



既に会議等に有効利用されています

アムル県総合開発計画策定支援プロジェクト進捗状況

アムル県から分離して新設されたヌウォヤ県で2件のパイロットプロジェクトが進行中です。その進捗状況についてお知らせします。

アムル県とヌウォヤ県をつなぐ2本の道の整備を目的に橋梁とカルバートの建設を昨年より行なっています。洪水被害などで工期の変更などがありました。2011年に入り、構造物の形が出来上がってきました。2011年4月下旬現在、コンクリート構造物は完成しつつあり、土工事を残すのみとなっています。乾季の間、遅れは見られたものの着々と工事は進んでまいりました。4月から再度雨季に入り、最終段階の土工事に影響が出てくる心配はあるものの、住民や県政府職員は完成を心待ちにしています。

完成し通行が出来るようになるのは今年7月の予定となっています。あと数ヶ月、無事に竣工式を迎えられるようスタッフ一同願っています。



Lot 1 橋梁



Lot 2 橋梁



Lot 1 ダブルボックスカルバート



Lot 1 シングルボックスカルバート

研修生に対するアクションプランフォローアップ活動を実施中

昨年9月から10月にかけての1ヶ月間、JICAウガンダでは国別研修「ウガンダ北部地域行政官能力強化研修」として15名の県行政長官や首相府職員、地方自治省職員を日本へ送り出し、研修を実施しました。日本では「地元学」の視点から、外部からの支援に依存することなく地域に存在する様々な資源を理解し/発見し、有効利用すること、住民の開発計画・実施への参加を通して効果的なプロジェクトを行うことなどを日本の事例を通して学ぶことができました。研修生は、研修で学んだことを帰国後自らの業務に生かすべく「アクションプラン」を作成し、そのプランを実施することが期待されています。

グルフィールドオフィスでは、彼らのアクションプランを支援するため、12月にはアクションプラン発表会を開催。その後2011年2-3月にはアクションプラン実施に関するアドバイス、また実施予算の一部をシードマネーとして支援しました。今後もグルフィールドオフィスは継続して県政府の自助努力を側面から支援していく予定です。アクションプランフォローアップ活動の詳細は次号にて紹介します。

(右)ヌウォヤ県での郡レベル職員への能力向上研修、フォローアップ予算を利用して3月に行われた



ラムウォ県FMラジオを通しての環境啓発活動



今後の予定

- 4月～ 紛争予防平和構築無償 第1期 工事着工
- 4月～ 紛争予防平和構築無償 第2期 調査団来訪
- 4月～ アチョリ地域道路網開発計画 調査団来訪
- 5月～ アムル県コミュニティ開発計画 策定支援 2年次調査団来訪
- 5月3日 国別研修帰国研修生向けアクションプランフォローアップ活動 結果発表会
- 6月～ アチョリ地域地方行政技プロ 調査団来訪

【編集後記】1月から企画調査員として赴任しました中村(芳)です。前回のニュースレターより4ヶ月間隔が開いてしまい申し訳ありません。今後はより多くの情報発信を心がけたいと思います。2011年から新体制でスタートしたグルフィールドオフィスを今後ともよろしくお願い致します。